

北杜市立病院改革プラン

平成24年度計画

(塩川病院)

平成23年12月

公立病院改革プランの概要(案)

団 体 名	北杜市							
プ ラ ン の 名 称	北杜市立病院改革プラン							
策 定 日	平成 23年 12月 27日							
対 象 期 間	平成 24年度 ~ 平成 24年度							
病院の現状	病 院 名	北杜市立塩川病院						
	所 在 地	北杜市須玉町藤田773						
	病 床 数	108床(一般54床、療養54床)						
	診 療 科 目	内科、外科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、人工透析内科、整形外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、放射線科						
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付	<p>①民間病院が存在しない当市における地域の中核病院としての機能 ②救急医療機関としての救急医療の実施 ③へき地拠点病院としてのへき地巡回医療の実施 ④地域特性に応じた医療の実施 《実施状況・評価》</p>							
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付	<p>市の一般会計から病院事業への経費負担については、総務省自治財政局長通知によって、その基本的な考え方が整理されており、当市においても一般会計から病院事業への繰出金は、上記総務省自治財政局長通知の繰出基準により、基準の範囲内で繰出を行っていくものとする。 《実施状況・評価》</p>							
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度 ()数値は実績	21年度 ()数値は実績	22年度 ()数値は実績	23年度 ()数値は見込み	24年度	備考
	医業収支比率(%)	92.9	(95.6) 93.4	(104.5) 99.3	(103.7) 100.1	(104.5) 100.4	105.0	
	経常収支比率(%)	93.0	(95.7) 93.9	(104.5) 100.4	(104.9) 101.3	(105.8) 101.6	106.0	
	職員給与費比率(%)	51.0	(49.7) 49.5	(47.9) 49.3	(50.2) 50.1	(51.6) 50.8	52.0	
	材料費比率(%)	25.1	(23.4) 24.4	(22.2) 22.2	(21.4) 22.0	(20.8) 22.0	20.0	
	病床利用率(%)	93.8	(92.0) 91.7	(93.9) 93.8	(94.6) 93.8	(90.0) 93.8	90	
上記目標数値設定の考え方	<p>平成19年度の医業収益の確保を、平成21年度以降の主要な目標と置き、一方で減価償却費の減少と併せて医業費用の減少努力を講じることにより、平成21年度からの経常黒字化が図られた。平成24年度も、経常黒字化をめざす。 《実施状況・評価》</p>							

				団体名 (病院名)	山梨県北杜市 (塩川病院)			
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度 ()数値は実績	21年度 ()数値は実績	22年度 ()数値は実績	23年度 ()数値は見込み	24年度	備考	
	年延入院患者数(人)	37,058	(36,265) 36,165	(37,030) 37,058	(37,294) 37,058	(35,589) 37,058	35,770	
	年延外来患者数(人)	55,593	(52,072) 52,390	(54,154) 53,991	(57,200) 53,991	(56,718) 53,991	58,668	
	入院患者1人1日当たり診療収入(円)	24,920	(23,440) 24,725	(23,992) 24,725	(23,468) 24,725	(24,563) 24,725	25,500	
	外来患者1人1日当たり診療収入(円)	9,682	(9,887) 9,808	(9,789) 9,682	(9,913) 9,682	(10,605) 9,682	10,700	
数値目標達成に向けての 具体的な取組及び実施時期 経営効率化に係る計画	民間的経営手法の導入	①全職員による稼働状況の共有化の実施 ②職員への経営効率化の意識付けの実施 《実施状況・評価》						
	事業規模・形態の見直し	事業規模・形態に関しては現状を維持するものとし、これらに必要な人材確保の目標として以下の項目を実施する ①整形外科もしくは内科常勤医師の採用 《実施状況・評価》 ②非常勤医師及び専門科診療医師の確保 《実施状況・評価》 ③現有看護職員数の将来的な継続確保 《実施状況・評価》						
	経費削減・抑制対策	①材料費購入費用の削減のための取り組みの実施 《実施状況・評価》						
	収入増加・確保対策	①ベッドコントロールの強化 《実施状況・評価》 ②医療従事者の患者指導の強化 《実施状況・評価》 ③血液浄化関連の増収対策 《実施状況・評価》						
	その他	【医療の質向上へ向けた取り組み】 ①早期回復に適した療養環境の提供(一般病棟) 《実施状況・評価》 ②退院後も見越した慢性期患者の生活の質の向上(療養病棟) 《実施状況・評価》 ③在宅療養支援の実施 《実施状況・評価》						
各年度の収支計画		別紙のとおり						
その他の 特記事項	病床利用率の状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度 (見込)
		86.4%	88.8%	93.8%	92.0%	93.9%	94.6%	90.0%
病床利用率の状況を踏 まえた病床数等の抜本 見直し、施設の増改築計 画の状況等		病床利用率は高水準で推移していること、平成16年度に大規模な増改築を実施していること などから、病床数等の抜本の見直しや施設の増改築計画等は見込まない。						

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)	24年度
		19年度(実績)	20年度(実績)						
収	1. 医業収益 a			1,503	1,434	1,553	1,578	1,583	1,632
	(1) 料 金 収 入			1,435	1,365	1,418	1,442	1,475	1,510
	(2) そ の 他			68	69	135	136	108	122
	うち他会計負担金			3	2	57	58	52	47
	2. 医業外収益			87	83	93	108	105	90
	(1) 他会計負担金・補助金			74	68	77	89	86	73
	(2) 国(県)補助金			7	8	10	11	12	10
	(3) そ の 他			6	7	6	8	7	7
	経 常 収 益 (A)			1,590	1,517	1,646	1,686	1,688	1,722
	支	1. 医業費用 b			1,618	1,500	1,487	1,521	1,516
(1) 職 員 給 与 費 c				767	714	745	792	817	904
(2) 材 料 費				378	336	345	337	329	352
(3) 経 費				237	259	230	239	239	285
(4) 減 価 償 却 費				233	189	164	139	129	125
(5) そ の 他				3	2	3	14	2	7
2. 医業外費用				91	86	88	86	79	49
(1) 支 払 利 息				60	56	54	51	48	46
(2) そ の 他				31	30	34	35	31	3
経 常 費 用 (B)				1,709	1,586	1,575	1,607	1,595	1,722
経 常 利 益 (A)-(B) (C)				△ 119	△ 69	71	79	93	0
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)			0	0	0	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)			0	0	0	0	0	0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)			0	0	0	0	0	0
純 利 益 (C)+(F)				△ 119	△ 69	71	79	93	0
累 積 欠 損 金 (G)				119	188	117	37	△ 56	△ 56
不良債務	流 動 資 産 (ア)			796	826	1,105	1,131	1,198	1,258
	流 動 負 債 (イ)			77	45	64	67	50	50
	うち一時借入金								
	翌年度繰越財源(ウ)				66	154			
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)								
差引不良債務(オ)									
[[(イ)-(エ)] - (ア)-(ウ)] (オ)				△ 719	△ 715	△ 887	△ 1064	△ 1148	△ 1208
単年度資金不足額(※)				5	4	△ 172	△ 177	△ 84	△ 60
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$				93.0	95.6	104.5	104.9	105.8	100.0
不良債務比率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$				△ 47.8	△ 49.9	△ 57.1	△ 67.4	△ 72.5	△ 74.0
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$				92.9	95.6	104.4	103.7	104.4	97.5
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$				51.0	49.8	48.0	50.2	51.6	55.4
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)									
地方財政法上の資金不足の割 $\frac{(H)}{a} \times 100$									
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率									
病 床 利 用 率				93.80%	92.00%	93.90%	94.60%	90.00%	88.90%

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)	24年度	
収 入	1. 企業債							
	2. 他会計出資金							
	3. 他会計負担金	120	117	71	55	51	52	
	4. 他会計借入金							
	5. 他会計補助金	0	66	150	0	0	0	
	6. 国(県)補助金	3	0	50	1	3	55	
	7. その他							
	収入計 (a)	123	183	271	56	54	107	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	66	150	0	0	0	
	前年度許可債で当年度借入分 (c)							
	純計(a)-(b)+(c) (A)	123	117	121	56	54	107	
	支 出	1. 建設改良費	11	12	111	163	23	76
		2. 企業債償還金	232	228	135	102	94	97
3. 他会計長期借入金返還金								
4. その他		0	0	0	3	1	2	
支出計 (B)		243	240	246	268	118	175	
差引不足額 (B)-(A) (C)	120	123	125	212	64	68		
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	120	123	59	58	64	68	
	2. 利益剰余金処分量							
	3. 繰越工事資金	0	0	66	154	0	0	
	4. その他							
計 (D)	120	123	125	212	64	68		
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0		
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)								
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0		

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)	24年度
収益的収支	(0) 77,431	(0) 70,038	(0) 133,901	(0) 147,027	(0) 137,814	(0) 119,738
資本的収支	(0) 119,833	(65,720) 183,133	(150,000) 220,745	(0) 54,785	(0) 50,824	(0) 52,273
合計	(0) 197,264	(65,720) 253,171	(150,000) 354,646	(0) 201,812	(0) 188,638	(0) 172,011

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。

北杜市立病院改革プラン

平成24年度計画

(甲陽病院)

平成23年12月

(別紙4)

公立病院改革プランの概要(案)

団 体 名		北杜市						
プランの名称		北杜市立病院改革プラン						
策 定 日		平成 23年 12月 27日 (平成 年 月 日改定)						
対 象 期 間		平成 24年度 ~ 平成 24年度						
病院の現状	病 院 名	北杜市立甲陽病院						
	所 在 地	北杜市長坂町大八田3954						
	病 床 数	122床(一般86床、療養 32床、感染4床)						
	診 療 科 目	外科、消化器外科、消化器内科、内科、循環器内科、肝臓・消化器内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、整形外科、眼科、脳神経外科、小児科、泌尿器科、皮膚科、人工透析内科、リハビリテーション科						
公立病院として今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付		①民間病院が存在しない当市における地域の中核病院としての機能 ②救急医療機関としての救急医療の実施 ③小児科専門医による小児医療(小児科)の実施 ④地域特性に応じた医療の実施 《実施状況・評価》						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要) (注)詳細は別紙添付		市の一般会計から病院事業への経費負担については、総務省自治財政局長通知によって、その基本的な考え方が整理されており、当市においても一般会計から病院事業への繰出金は、上記総務省自治財政局長通知の繰出基準により、基準の範囲内で繰出を行っていくものとする。 《実施状況・評価》						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度 ○数値は実績	21年度 ○数値は実績	22年度 ○数値は実績	23年度 ○数値は見込	24年度	備考
	医業収支比率(%)	97.3	(100.9) 100.6	(98.0) 97.7	(95.2) 99.2	(96.7) 82.3	96.3	
	経常収支比率(%)	96.6	(100.0) 99.3	(97.7) 98.1	(96.2) 99.5	(97.9) 83.2	100.0	
	職員給与費比率(%)	54.6	(53.3) 53.9	(57.3) 57.7	(62.2) 56.4	(60.6) 55.9	57.8	
	材料費比率(%)	21.2	(21.0) 20.8	(19.8) 20.0	(17.8) 20.2	(18.3) 20.3	19.7	
	病床利用率(%)	73.1	(78.3) 75	(70.8) 83.1	(62.9) 84.8	(65.3) 86.5	81.1	
上記目標数値設定の考え方		医師確保による医業収益の増加に主要な目標を置き、あわせて医業費用の減少努力を講ずることにより、平成24年度の経常黒字化を目指す。 (経常黒字化の目標年度:平成24年度) 《実施状況・評価》						

団体名 北杜市
(病院名) (北杜市立甲陽病院)

公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度 (数値は実績)	21年度 (数値は実績)	22年度 (数値は実績)	23年度 (数値は見込)	24年度	備考
年延入院患者数(人)	33,720	(36,000) 34,529	(32,557) 38,252	(28,941) 39,019	(29,175) 39,785	36,135	
年延外来患者数(人)	62,127	(63,660) 65,114	(62,090) 70,764	(59,242) 73,148	(58,598) 74,633	64,621	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	24,309	(23,201) 23,705	(23,492) 23,219	(23,234) 23,329	(24,861) 23,435	24,489	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	8,950	(8,727) 8,779	(8,741) 8,338	(8,830) 8,488	(9,553) 8,567	9,621	

数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期 経営効率化に係る計画	民間的経営手法の導入	①全職員による財政状況の共有化の実施 《実施状況・評価》 ②職員への経営効率化の意識付けの実施 《実施状況・評価》					
	事業規模・形態の見直し	事業規模・形態に関しては現状を維持するものとする。また、事業規模・形態の現状維持および医業収益の向上への取り組みの観点から必要な人材確保の目標として以下の項目を実施する ①脳神経外科医師及び内科常勤医師の採用 《実施状況・評価》 ②作業療法士1名の採用 《実施状況・評価》 ③看護体制の維持					
	経費削減・抑制対策	①材料等の効率的な購入方法の検討 《実施状況・評価》					
	収入増加・確保対策	①一般病床の入院患者数の増加への取り組み 《実施状況・評価》 ②療養病床(医療型・介護型)の稼働率の維持・向上への取り組み 《実施状況・評価》 ③透析患者の受入患者数の増加・向上への取り組み 《実施状況・評価》 ④診療科の新設(脳外科)による患者数の増加への取り組み 《実施状況・評価》 ⑤リハビリテーション科の受入患者数の増加・向上 《実施状況・評価》					
	その他	【医療の質向上へ向けた取り組み】 ①医療職員採用による医療の質の向上への取り組み 《実施状況・評価》					

各年度の収支計画 別紙のとおり

病床利用率の状況	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度 (見込)
	78.6%	70.1%	73.1%	78.3%	70.8%	62.9%	65.3%

その他の特記事項
病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等
北杜市内の病床は、市立2病院が保有する230床(内訳:一般140床、療養86床、感染4床)のみであるが、当地域が甲府市周辺を含めた中北医療圏であるため全体として過剰病床地域となっている。しかしながら当医療圏内は都市部に医療施設が集中し当市内に存在する病床数で捉えると過剰病床地域とは言えない状況である。そのため、病床が生活インフラの重要な一要素であることを考えると医師数が確保できず需要に対して供給が不足している現在の病床利用率に基づいて病床数を設定することは市民の医療ニーズに合致しない恐れがある。このようなことから、現段階においては病床数等の抜本見直しは行わないものとする。
《実施状況・評価》

(別紙)

団体名 (病院名)	北杜市(甲陽病院)
--------------	-----------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位: 百万円、%)

区分		年度					
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度
収 入	1. 医 業 収 益 a	1,451	1,468	1,424	1,307	1,358	1,617
	(1) 料 金 収 入	1,441	1,459	1,373	1,256	1,306	1,563
	(2) そ の 他	9	9	51	51	52	54
	うち他会計負担金			42	42	43	44
	2. 医 業 外 収 益	70	67	83	94	121	113
	(1) 他会計負担金・補助金	57	56	72	79	113	103
	(2) 国(県)補助金	5	5	5	8	5	5
	(3) そ の 他	8	6	6	7	3	5
	経 常 収 益 (A)	1,521	1,535	1,507	1,401	1,479	1,730
	支 出	1. 医 業 費 用 b	1,492	1,454	1,452	1,373	1,405
(1) 職 員 給 与 費 c		792	782	816	813	823	935
(2) 材 料 費		308	308	282	233	248	319
(3) 経 費		244	249	238	225	236	292
(4) 減 価 償 却 費		145	113	104	94	92	128
(5) そ の 他		3	2	12	8	6	6
2. 医 業 外 費 用		82	80	90	84	105	50
(1) 支 払 利 息		55	52	50	48	71	44
(2) そ の 他		27	28	40	36	35	6
経 常 費 用 (B)		1,574	1,534	1,542	1,457	1,510	1,730
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	△ 53	1	△ 35	△ 56	△ 31	0	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)				4		
	2. 特 別 損 失 (E)					362	
	特別損益(D)-(E) (F)	0	0	0	4	△ 362	0
純 損 益 (C)+(F)	△ 53	1	△ 35	△ 52	△ 393	0	
累 積 欠 損 金 (G)		52	87	139	532	532	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	874	1,207	1,109	1,238	804	817
	流 動 負 債 (イ)	70	72	66	62	100	51
	うち一時借入金						
	翌年度繰越財源(ウ)						
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 差引不良債務 [(イ)-(エ)]-[(ア)-(ウ)] (オ)	△ 804	△ 1,135	△ 1,043	△ 1,176	△ 704	△ 766
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	△ 43	△ 331	92	△ 133	339	410	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	96.6	100.1	97.7	96.2	97.9	100.0	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	△ 55.4	△ 77.3	△ 73.2	△ 90.0	△ 51.8	△ 47.4	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	97.3	101.0	98.1	95.2	96.7	96.3	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	54.6	53.3	57.3	62.2	60.6	57.8	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)							
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率							
病 床 利 用 率	73.1	78.3	70.8	62.9	65.3	81.1	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること

例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」

団体名 (病院名)	北杜市(甲陽病院)
--------------	-----------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度
収 入	1. 企 業 債	0	0	0	72	36	0
	2. 他 会 計 出 資 金	0	0	0	42	12	0
	3. 他 会 計 負 担 金	68	62	59	84	163	57
	4. 他 会 計 借 入 金						
	5. 他 会 計 補 助 金	0	285	137	132	32	0
	6. 国 (県) 補 助 金	0	4	0	147	0	4
	7. そ の 他						
	収 入 計 (a)	68	351	196	477	243	61
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	284	127	282	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)					12	
純計(a)-(b)+(c) (A)	68	67	69	195	231	61	
支 出	1. 建 設 改 良 費	21	36	276	314	491	88
	2. 企 業 債 償 還 金	108	97	90	89	246	87
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金						
	4. そ の 他	0	0	0	1	2	1
	支 出 計 (B)	129	133	366	404	739	176
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	61	66	297	209	508	115	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	61	66	13	82	226	115
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額						
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	284	127	282	0
	4. そ の 他						
計 (D)	61	66	297	209	508	115	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)	24年度
収 益 的 収 支	() 56,861	() 55,683	() 113,842	() 120,862	() 155,982	() 147,126
資 本 的 収 支	() 68,049	(142,488) 346,683	(68,734) 196,278	(86,210) 257,881	(5,950) 207,015	() 56,917
合 計	() 124,910	(142,488) 402,366	(68,734) 310,120	(86,210) 378,743	(5,950) 362,997	() 204,043

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。